

令和7年度桜井地区行事予定

2024年4月	8月	12月
13日(日) 地区ソフトボール大会	3日(日) 北部4館映画会	クリーン作戦②
5月	9日(土) 花いっぱい運動草取り②	6日(土) 子育連かるた取り大会
クリーン作戦①	16日(土)～17日(日) 夏休みふるさと体験教室	7日(日) 市体駅伝競走大会
10日(土) 桜井子どもハッピーふぁーむ(さつまいも植付)	9月	13日(土) 子育連子ども駅伝大会
11日(日) 地区ビーチボール大会	28日(日) 地区スポーツフェスティバル	2026年1月
24日(土) 平方GG大会	10月	11日(日) 二十歳のつどい
25日(日) 地区卓球大会	11日(土) 市体GG大会	18日(日) 地区合同新年会
6月	21日(火) 花いっぱい運動②	2月
1日(日) 市体ソフトボール大会	11月	1日(日) ミュージックフェスタ
子育連ポートボール大会	2日(日) 市体中央大会	地区ボウリング大会
7日(土) 花いっぱい運動①	8日(土) さわやか桜井ウォーキング	3月
14日(土) まちづくり講演会	15日(土) 桜井コミュニティまつり	1日(日) 古利根川クリーン作戦
21日(土) 桜井子どもハッピーふぁーむ(じゃがいも収穫)	15日(土)～16日(日) 地区文化祭	15日(日) 地区少年野球大会
22日(日) 市体卓球・ビーチボール大会	27日(木) 花いっぱい運動草取り③	14日(土) 桜井子どもハッピーふぁーむ(じゃがいも植付)
7月	30日(日) 地区ボッチャ大会	※日程変更または中止になる場合があります。 GG→グラウンドゴルフ 市体→市民体育祭 子育連→桜井地区子ども育成連絡協議会
5日(土) 花いっぱい運動草取り①		
子育連ドッジビー大会		
20日(日) 下間久里獅子舞		



【まちづくり会議のワークショップ】

越谷市は令和8年度(2026年度)から令和12年度(2030年度)までの5年にわたる計画期間の第5次総合振興計画後期基本計画策定にあたります。桜井地区では、委員21人で構成する地区まちづくり会議を開催し、慎重に議論を重ねて参りました。地区の現況や課題を整理し、今後の地区のまちづくりに関する意見交換を行い、ここに令和6年11月12日に提言をいたしました。

提言の内容としては、地区内河川の環境良化や防災・防犯の重点化、地域の交通整備、地区コミュニティの強化等多岐にわたります。右記の表には、提言した目標、それに対する重点的な取組を掲載しました。

今後私たち桜井地区コミュニティ推進協議会は、「憩える自然につつまれた、住みよいふれあいのまち桜井」実現のため地域住民、市とともに取り組んで参ります。

第5次総合振興計画後期基本計画に向け桜井地区まちづくり会議提言書を提出

主な提言内容

目標	重点的な取組
目標① 暮らしの中に生きた緑と水と農を蘇らせ、身近な自然と共存するまちづくり	1-1 水害対策や水質対策などによる河川・水路環境の改善 1-2 良好な環境の維持と向上 1-3 環境改善のための対策促進 1-4 農業の活性化
目標② 防災力を高め、地域の連携と支え合いによる、安全で安心なまちづくり	2-1 安全性を重視した道路、交通環境の整備 2-2 地域をあげた防災による安心・安全なまちづくり
目標③ 絆と連携を強め、誰もが生きがいを持って快適に暮らせるまちづくり	3-1 誰もが快適に暮らせる環境づくり 3-2 コミュニティの活性化
目標④ 歴史ある伝統を引き継ぎ、輝きのある文化と美しい景観を創造し、地域の魅力を発信するまちづくり	4-1 地域の伝統文化の継承と創造

桜井コミ協へのご意見、ご感想をお寄せください。桜井地区コミュニティ推進協議会(桜井地区センター内)
〒343-0045 越谷市下間久里792-1 TEL: 048-970-7600 FAX: 048-970-7601



令和7年4月
(2025年)
第39号



コミュニティ
さくらい

編集／発行 桜井地区コミュニティ推進協議会 桜井地区センター内 TEL 048-970-7600

コミュニティさくらい創刊30周年！ ～創刊号から振り返る30年の軌跡～

平成6年5月創刊

桜井地区コミュニティ推進協議会(桜井コミ協)の活動内容などを地域の皆様にお知らせする「コミュニティさくらい」は、昨年5月で創刊30年を迎えました。30年の節目に当たり、過去の発行紙を見ながら、地区コミュニティの30年を振り返ってみたいと思います。

桜井コミ協の発足は平成5年(1993年)11月。翌年5月の「コミュニティさくらい」創刊号で初代会長は、「(桜井コミ協の)目的は、桜井地区における住民間、住民と行政との関わりを考える組織とすること、地区固有の諸問題や諸課題に積極的に話し合いをし連絡調整に努めること」、「地区に対する愛着を高め、住民みずからが立てた地区の将来像に向け課題を選択し、行政と一体となって住みよい地域づくりを図ること」そして「21世紀を目前に控えた私達に課せられた高齢化社会問題、生涯学習問題、学校五日制問題、社会福祉問題、地球環境保全問題、物質社会の中で失われゆく人の心の問題など」「これらの問題に取り組まなければなりません。」と記しています。

この方針は、今も変わっておりません。

創刊当時の社会の出来事

「コミュニティさくらい」が創刊された平成6年は、越谷市民球場がオープンし、越谷市が環境共生モデル都市(エコシティ)に指定された年です。

当時は、バブル崩壊後の不況が続き、企業の倒産や失業者が増加している時期でした。

平成7年1月に阪神・淡路大震災が発生して甚大な被害をもたらし、多くの人が地震災害の恐ろしさを感じました。越谷市も救援支援を行いました。

5月に児童館ヒマワリ、9月に「キャンベルタウン野鳥の森」が開園しています。8月には、県立越谷西高等学校が市内の高校として初の甲子園出場を果たしました。

「コミュニティさくらい」のこれから

平成5年の発足以降、桜井コミュニティ推進協議会は地域の様々な課題に取り組んでまいりました。今後も、社会状況の変化に常にアンテナを張りながら、地域の課題についてその解決に向け引き続き取り組んでまいります。

活動内容は、「コミュニティさくらい」などを通じて地域の皆さまにお伝えしてまいりますので、よろしくお願いします。



【コミュニティさくらい 創刊号 両面】

「コミュニティさくらい」の主な記事

【平成10年7月号掲載】

桜井地区の地名考

桜井地区の地名の由来など、越谷の歴史に関して10号から第17号まで連載しました。

平方 低く広がった土地のこと。利根川（会之堀）と古利根川（土砂の堆積によってできた土地）の間に、舟の停泊地として、隣接して船着場（船着場）のあったトックリカシがある。大田平の境の利根川跡の水田は現在宅地化された。間久里（港瀬）の約化で、川水が勢よく満を卷いて流れたところ。寛永六年（一六二九）までの荒川は袋山を一周して急曲南下し日光道西側を並行して流れていた。マクリゼが上下二か所あり地名となる。宝永三年（一七〇六）大竹地先で元荒川を直流させたので川跡は水田となり、後に宅地化された。大里（語意語源不詳。仮に「サド」とした場合は東

【平成12年7月号掲載】

新桜井公民館

すてきな愛称を募集します

新しい桜井公民館は従来の公民館の機能である生涯学習に加え、地域コミュニティ、地域福祉、防災救済の機能を併せ持つ地域活動の拠点となる施設として、下間久里地区に平成12年10月に開館予定です。この4つの機能を担うため、約1900平方メートルの建物には、

- ◆ 応接室 市内在住の方
- ◆ 応接方法 ① 官製はがきに愛称、愛称の意味、氏名、住所、年齢、電話番号をご記入のうえ、7月15日（日）入会日消印有効までに桜井公民館（〒343-1004 大沼73012）へ
- ◆ 応募方法 ② 公民館に設置の応募用紙で7月15日（日）までに公民館へ直接応募ください。
- ◆ 締め切り 7月15日（日）まで
- ◆ 選考方法 桜井公民館愛称選考委員会にて選考
- ◆ 発表 広報しりがお知らせ版10月号
- ◆ 表彰 決定した愛称を応募した方と優秀作を応募した方20人に記念品を贈呈します。
- ◆ 問合せ 桜井公民館（76-10992）

150人収容可能な多目的ホールをはじめ、簡易防音設備を施した自由活動室、大小4つの学習室など多様な学習ニーズに対応することほもちろん、地域コミュニティ、地域福祉のための団体活動室やボランティア室、相談室を設けています。また、備蓄倉庫や防火用貯水槽を設置し、災害発生時の緊急対応を担っています。

このほか、約5000冊の図書コーナーをはじめ、情報コーナー、談話コーナーでは地域の皆さんの憩いの場としてもご利用いただけます。そこで、だれでも気軽に、自由に集うことができる施設にするために、皆様から親しまれる素敵な愛称を募集中です。締め切りは7月15日（日）まで。たくさんのご応募をお待ちしております。

〈新・桜井公民館の完成予想図〉

桜井地区センター・公民館 あすぱる開館

桜井地区センターは平成12年に市内で3番目の大型公民館として開館しました。開館に先立って愛称を募集し「あすぱる」と決めました。

【平成16年3月号掲載】

2004年 第59回国民体育大会 彩の国まごころ国体

とどけ この夢 この歓声

心のこもった国体をめざして…民泊運営にご協力を！

国体開催期間中は、全国から多くの選手・監督が越谷市に訪れ、市内13地区の公民館・交流館を宿泊する「民泊」が実施されます。

桜井地区では、桜井地区センター（桜井公民館）と桜井交流館が民泊施設となり、現在「民泊協力会」の組織づくりが進められています。全国から訪れる方々が「越谷に来てよかった」と思える大会、そして地域の皆さんにも深い感動と思い出が残る大会をめざします。

4月には、桜井地区民泊協力会の設立総会が開催され、いよいよ民泊協力会の運営がスタートします。地域の、多くの方のご協力をお願いいたします。

彩の国まごころ国体 民泊運営

埼玉県で開催される国民体育大会に参加する県外の選手や監督の宿泊施設として、桜井地区センターと桜井交流館が指定されました。円滑な施設運営のために民泊協力会がつくられ活動しました。

桜井地区30年の人口変化

桜井地区の人口は30年間で右表のように変化してきました。

世帯数は約1.4倍に増加する一方で、人口はほぼ変化ありません。現代社会における少子高齢化や核家族化の進展等の影響により世帯数が増えているものと思われます。

	平成6年	令和6年	増減数
世帯数	11,898世帯	17,082世帯	+5,184世帯
男	18,741人	18,179人	△562人
女	18,559人	19,123人	+564人
計	37,300人	37,302人	+2人

桜井地区コミュニティ推進協議会 令和6年度の活動報告

総務部会



東京都復興記念館の見学

7月7日に東京都復興記念館・東京都慰霊堂へ視察研修を実施しました。参加者の皆さんも学芸員の解説に真剣に耳を傾けていました。関東大震災・東京大空襲といった過去の災害から教訓を学び、地域の防災意識を高める重要性を再認識しました。

福祉部会



桜井ウォーキングの散策

6月15日にまちづくり講演会を実施しました。桃月庵こはくさんの落語と安藤久代さんの健康体操の二部構成で実施、地域の多数の方に参加していただきとても好評でした。

また11月9日にはさわやか桜井ウォーキングを実施しました。当日は晴天の下、桜井地区センターからキャンベルタウン野鳥の森までウォーキングをしました。

環境部会



花いっぱい運動の緑化活動

環境部会は、地区センターの緑化作業に取り組んできました。花いっぱい運動、草取りを実施し、環境への取り組みを進めて参りました。

また8月23日から9月6日にわたって全3回「防災啓発講座」を実施しました。地域の方々が参加し、講師から有事の対応方法を指導していただきました。

青少年部会



じゃがいも収穫

青少年部会は桜井子どもハッピーふぁーむを実施しました。じゃがいもやサツマイモ等の作物を育成し、収穫する経験は子どもたちにとって、とても貴重な経験であり、多くの参加者が楽しんで参加していました。

また8月には、夏休みふるさと体験教室を実施予定でしたが、台風接近により中止となりました。

桜井地区スポーツフェスティバル

桜井地区スポーツフェスティバルに共催団体として桜井地区コミュニティ推進協議会も参加しました。

総合得点による自治会対抗が復活し、大会当日は多くの方々に参加していただきました。数多くの熱戦が繰り広げられました。



紅白玉入れ▲

桜井地区総合防災訓練

2月16日に越谷北高等学校にて桜井地区総合防災訓練が実施されました。本年は4年に一度の桜井地区全体の自治会が参加する訓練になります。

多くの自治会の皆さまや越谷北高等学校の生徒、今回は平方中学校の生徒も参加していただき、様々な訓練に熱心に取り組んでいました。



桜井地区総合防災訓練▲

桜井地区内イベント

桜井コミュニティまつり



釼明高等学校の合唱部

昨今の社会状況に伴い、環境以外の多岐にわたる課題に取り組む必要性を鑑み、今回から環境フェスタから「桜井コミュニティまつり」と名称変更して開催しました。

開会式では、オープニングアクトとして釼明高等学校の合唱部による演奏があり、大いに盛り上がりしました。